# 重要なまちづくりの課題の現状評価シート

| | | | |
|---|---|---|---|
| 重要なまちづくりの課題（めざすべき姿） | まちの玄関である一宮駅ビルが、多機能で多くの人でにぎわっている | | |
| 施策名 | 一宮駅を中心とした魅力ある中心市街地をつくる | No.44 | |

| | |
|---|---|
| 年度 | 平成27年度 |
| 責任部長 | 建設部参事 |
| 主担当課長 | まちづくり課長 |
| 関係課 | 管財課、経済振興課、道路課、公園緑地課 |

## 1. まちづくり指標の現状

| まちづくり指標 | | 指標のめざす方向 | 現状値 | 実績値 | | | | | 目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | H18 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | 5年後 |
| | | | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | 10年後 |
| 駅周辺がにぎわっていると思う人の割合（%） | | ↗ | 13.7 | 13.0 | 12.9 | 11.6 | 10.4 | 14.3 | 20.6 |
| | | | 14.3 | 25.8 | 29.7 | 28.1 | | | 29.1 |
| 駅周辺が多機能で、魅力があると思う人の割合（%） | | ↗ | 8.9 | 8.0 | 8.5 | 7.8 | 8.2 | 9.9 | 16.6 |
| | | | 9.9 | 21.7 | 24.1 | 24.3 | | | 25.0 |
| 歩行者通行量（人） | ①本町通り歩行者 | ↗ | 1,676 | 1,686 | 1,416 | 2,020 | 1,702 | 1,659 | 2,081 |
| | | | 1,659 | 1,246 | 1,668 | 1,312 | | | 2,499 |
| | ②本町通り自転車 | | 2,218 | 2,371 | 2,035 | 2,468 | 2,053 | 1,650 | 2,411 |
| | | | 1,650 | 1,724 | 1,875 | 1,297 | | | 2,588 |
| | ③銀座通り歩行者 | | 1,574 | 2,253 | 1,810 | 2,430 | 2,276 | 1,952 | 1,932 |
| | | | 1,952 | 2,221 | 2,161 | 2,099 | | | 2,354 |
| | ④銀座通り自転車 | | 863 | 1,003 | 819 | 1,008 | 871 | 543 | 1,027 |
| | | | 543 | 599 | 690 | 585 | | | 1,383 |

## 2. 外的要因（世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等）

駅周辺については、尾張一宮駅前ビルが出来たことにより通勤通学の「通過点」だった駅は図書館や店舗が集まる「滞在型」へ変化し、同ビル内にある半屋外広場のシビックテラスは土日の予約が殆ど埋まり、様々なイベントが開催されにぎわいを創出している。
路線価についても今年度2.6%上昇し、iービルが整備されたことや、駅周辺のマンション建設が進んだことが、市街地の活性化につながっていると新聞で報じられた。

## 3. めざすべき姿に対する現状評価（まちづくり指標や外的要因等からの評価）

| | | |
|---|---|---|
| 現状評価 | B 停滞 | 「駅周辺が多機能で、魅力があると思う人の割合」は、5年連続で伸びを示しており、「駅周辺がにぎわっていると思う人の割合」についても、H26実績値を割っているが目標値と離れていない点で評価できる。しかし、「歩行者通行量」については、H26実績値より減少した結果となった。<br>iービルが整備されたことにより駅前についてはにぎわっていると評価されているが、中心市街地全体には波及効果が表れていないと考えられる。 |

評価がB・Cの場

## 4. 事務事業群に対する評価（行政活動の評価）

| 長期成果（事業群①） | 長期成果（事業群②） | 長期成果（事業群③） | 長期成果（事業群④） |
|---|---|---|---|
| 駅前ビルに多くの人が集うようになる | 駅前ビルの周辺地域が活性化される | | |
| 尾張一宮駅前ビル活用事業 | 電線共同溝整備事業 | | |
| 再開発事業 | 市営駐車場管理運営事業 | | |
| | 商工団体等事業費（共同事業・空き店舗活用事業）補助事業 | | |
| | 稲荷・新柳公園再整備事業 | | |

| | |
|---|---|
| 評価観点 | 1. 長期成果は重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の一歩手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。<br>2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。 |
| 評価 | 長期成果は、にぎわいの観点を核施設の駅前ビルと周辺地域の活性化に分けており、問題ない。<br>中心市街地全体の活性化については、魅力ある商店街を創って行くことが求められ、行政の事業活動だけでは難しい。しかしながら、駅前ビルを指定管理者に変更し集客力を向上させる取り組みや、商店街における道路の無電柱化や新柳公園の基盤整備を進め、駅前ビルの来訪者の多くに回遊してもらう環境を整え、にぎわいに寄与できるように努めたい。 |
| 次年度の改善計画 | 【廃止】商店街店舗リニューアル補助事業　アーケードの改修工事に併せて行っていたが、整備が完了したため事業を廃止 |

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

**総合計画推進市民会議による現状評価**（※総合計画推進市民会議が発表した「重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の評価書」から転記）

| | | |
|---|---|---|
| 評価 | B 停滞 | 指標1と指標2は駅ビルの完成により大きく改善したが、H27の数値は横ばいでの推移であった。また指標3の減少から、中心市街地のにぎわいを創造するためには特別な仕掛けづくりが必要なのではと感じる。 |